

「新型コロナウイルス感染症」対策として導入されている施策事例

営業継続を選択されたゴルフ場においては、「新型コロナウイルス感染症」の感染リスクを最小限とすべく、様々な施策を導入されていることとご拝察申し上げますが、他ゴルフ場で実施されている施策をご紹介申し上げ、ご参考にして頂ければと存じます。

ゴルファーの心理は、「不要不急の外出自粛」を要請されているために、長時間の外出はできる限り避けたいとの思いがあるようです。したがって、「9ホールプレー」や「18ホールスループレー」等の「短時間プレー」のニーズが高まっているようです。

(「短時間プレー」の認知が進めば、「ゴルフ普及」に繋がる可能性もあります。)

【プレイスタイルの変更】

- ① 18ホールスループレーの導入
全組をスループレーとするケース・プレーヤーの要望によって対応するケース
- ② 9ホールプレー
- ③ 1ラウンド制限
- ④ 2サンプレーの奨励

【レストランを閉鎖】

- ① 全組をスループレーとしているゴルフ場
- ② 事前予約等による弁当提供
- ③ 飲食料品の持ち込みを認め、テラスや屋外での飲食を許可

【レストランを営業しているゴルフ場での対応】

- ① 昼食時のみ営業
- ② テーブル数を減少させ、社会的距離2メートル（ソーシャルディスタンス）を確保。
- ③ コンペルームの閉鎖。（多人数での個室使用を廃止し、リスクを軽減）
- ④ レストランの換気を確保（常時、或いは、定期的。クラブハウス全体も含む）
- ⑤ バイキング形式の飲食提供の中止
- ⑥ 使用済みのテーブルを各組ごとに消毒

レストランの営業については、複数の対策を組合わせて実施しているゴルフ場が多い。

【浴室・脱衣室の閉鎖】

- ① 浴室・脱衣室を閉鎖
- ② 浴槽を閉鎖し、シャワーのみ使用可

【乗用カートの使用について】

- ① 2名に1台として、4サムには2台使用とする。（安全対策の徹底が必要）
- ② 乗用カートのフロントガラスを空けたままで使用
- ③ 乗用カートへの乗車人員の制限（運転者のみ乗車可として、他のプレーヤーは歩行）

【組数制限や営業スタイルの変更等・・・接触機会の低減】

- ① 早朝・薄暮プレーの廃止・スタート間隔の拡大
- ② 会員同伴に限定、プライベートコンペの受付停止
- ③ セルフ化の推進（ゴルフバッグの積み降ろし）
- ④ クラブハウスの使用エリアの縮小（ロッカールーム等）
- ⑤ 入場時・会計時のソーシャルディスタンスの確保
- ⑥ プレー中でもマスク着用を依頼

以上のように様々な取り組みを複数組み合わせ、 「新型コロナウイルス感染症対策」が実施されており、感染リスクを可能な限り最小化する試みが行われています。

ゴルフ場業界においても、従業員並びに来場プレーヤーの新型コロナウイルス感染事例も報告されており、感染リスクの低減に向けた対応策の立案と徹底した実行が求められています。